



成人移行期支援 Q&A

Q：同じ病気でも小児科と成人科では違いがあるのでしょうか？

A:同じ病気でも小児と成人で治療法が多少異なる場合があります。また、病気の性質や合併する疾患も年齢とともに変化することがあります。さらに、成人期に発症する他の疾患(生活習慣病など)も加わることがあり、成人科で診る病態の比重が増していきます。また、妊娠・出産を希望される際の情報や経験は成人科の方がより豊富にあります。

Q：成人移行期支援はどの科でも行われているのでしょうか？

A：心臓疾患や腎疾患、消化器疾患、リウマチ性疾患、血液疾患、あるいは外科系疾患など、あらゆる分野で行われます。基本的には長期的な経過をたどり思春期・青年期を迎える全ての患者さんが対象になります。

Q：こどもでも治療方針を決めるのに参加しても良いですか？

A:小児期医療では治療方針を保護者と医療者で決めることが多いですが、成人科では基本的に患者さん本人と医療者で方針を決めていきます。今まで保護者が方針決定や薬の管理を行っていたところを、患者さん自身が自主的に参加することが大切になります。成人移行期支援では患者さんが「こども」ではなく一人の社会人として成長できるように支援していきます。



病院長からのメッセージ



ここ数十年程、医学はめざましい進歩を遂げ、かつての難病が今は治る(あるいはコントロールできる)ことも多くなりました。同時に、患者さんが成長し大人になっても病気や治療の影響をみてゆくことが大事な場合もあります。小児患者が成人移行を必要とする所以です。

慣れ親しんだこども病院から成人科施設へ移ることは不安な点もあるかも知れませんが、患者さんと保護者がよく理解し準備して進むことが大事です。病気治療の真の目標は、現在の病気を治すことだけでなく、良い人生を目指すことにあるからです。



お問い合わせ

宮城県立こども病院
成人移行期支援外来
平日 13:00~16:00
(代表) 022-391-5111



外来や家族支援室のスタッフに
お気軽にご相談ください。



MIYAGI CHILDREN'S HOSPITAL
宮城県立こども病院

2020年12月作成



これから大人になるあなたへ



成人移行期支援の

ご案内



宮城県立こども病院
成人移行期支援外来



■ 成人移行期支援とは

今までご家族に見守られ成長してきたこどもたちは、やがて自立の時を迎えます。自分自身の病気を正しく理解し、向き合い、周りの人たちとコミュニケーションを取りながら病気とともに歩んでいく必要があります。こどもたちの心身の成長に合わせて支援を行っていきますが、そのサポートのことを「成人移行期支援」と呼んでいます。治療をしながら成人へ至る成長過程で生じる様々な疑問や問題に対して相談に応じていきます。

■ 当院における具体的な取り組み

1. 「成人移行期支援外来」を受診して疾患や薬剤の認識、自己管理項目の把握などを評価し、段階的に成人移行の準備をします。
2. 適切な時期から患者さんと親御さんを別々の診察室でおはなし（診察）をしていきます。（診療科にもよります）
3. 自立度や問題点に応じて適切な職種のスタッフが相談に応じていきます。

■ 成人移行に向けた年代別の目標

早期 (12-14 歳) 成人医療への移行の流れや必要性を理解する。

中期 (14-16 歳) 移行の過程であることを認識し、少しずつ自己管理ができるようになる。

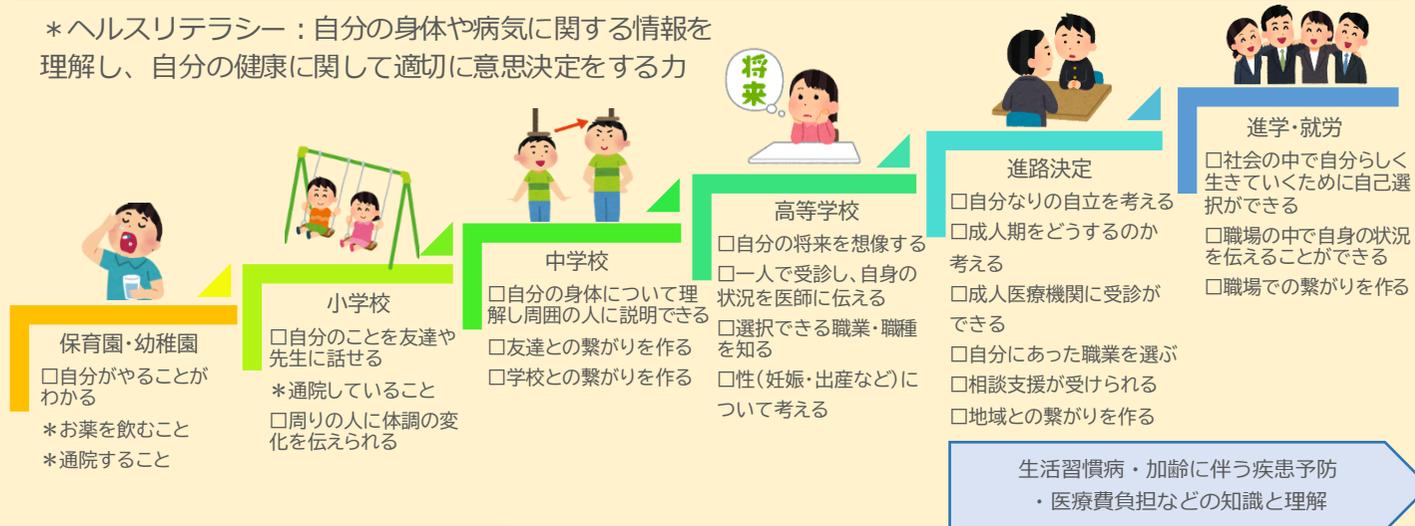
後期 (16-18 歳) 患者さん自身がケアに関して、かなりの程度で自立する。

■ 成人移行期支援にかかわるスタッフ

当院の成人移行期支援には医師、看護師だけでなく、薬剤師や医療ソーシャルワーカー、心理士、栄養士など様々な職種がかかわり、相談に応じていきます。

年齢に応じたヘルスリテラシー獲得のための目標

*ヘルスリテラシー：自分の身体や病気に関する情報を理解し、自分の健康に関して適切に意思決定をする力



成人移行期支援は何歳になったらということではなく、小学校高学年くらいから徐々に準備を始めていき、階段を上がっていくようなプロセスをたどります。患者さんの成長にあわせて成人移行の準備ができれば良いと考えています。疾患のことや薬のこと、学校や就職、金銭的な面での心配があれば医師や看護師などにお伝えください。



先輩患者さんからのメッセージ

(女性、若年性特発性関節炎、3歳発症)

私は今 26 歳です。社会人としてお仕事をしています。こどもの頃と変わらず、毎月通院して、薬を飲んで注射して、病気と一緒に生きています。

これから大人になるあなたへ。まずは、病気のこと、自分自身のことを知ってください。病気や治療のこと、できること、やらない方がいいこと、いろんな自分を知ってください。それはこれから、何かを決めるときの選択肢を広げることにつながると思います。困ったときは、周りの人に聞いてみましょう。先生も看護師さんも、がんばっているあなたと一緒に考えてくれるはずですよ。そして少しずつ、自分で決めてみてください。焦らなくても大丈夫です。ゆっくり、自分のこと、これからのことを考えてみてください。



たくさんの人たちと関わりながら、自立に向けて準備していきましょう。